

# 令和5年度 第4回 学校運営協議会

令和6年3月12日(火)

評価部会 15:30～16:05

学校運営協議会 16:10～16:40

神奈川県立旭高等学校 会議室

委員:阿部 力、増田 嘉一郎、新井 好美、窪田 剛久

副校長:桐谷 鋼哉 教頭:渡辺 克己

職員:五反田 淳(管理 G)、田中 成美(教務 G)、金澤 佳子(生活指導 G)

國島 嘉子(生徒支援 G)、佐々木 悦郎(進路支援 G)、渡邊 健(広報 G)

## 1. 評価部会

桐谷 本日は雨の中ありがとうございます。

直近の学校の様子としましては、卒業式が3月1日、相模大野のグリーンホールで行われました。とてもたくましく見え、いつもと変わらない高校生でした。今回は4月に52期生が入学してきます。旭高校として最後の卒業生になります。これからの3年間の取り組みが旭高校の発展につながっていくよう意見をいただきたいと思います。

教頭 では、教務グループからよろしく願いいたします。

田中 教務グループの田中です。カリキュラムに関しては、新しくなって2年目になります。3年目の選択科目は2年生が選択しています。授業改善は ICT 活用などで生徒の学びを支援しており、ICT を利用し生徒の主体的な授業に向けて来年度以降生徒へ還元できるように頑張ります。

教頭 質問、ご意見等がありますか？いただいたご意見を次年度につなげます。

新井 海外に繋げた授業を見ました。子どもたちに実践的な授業を進めていってほしいです。

教頭 以前は韓国と姉妹校で繋がっていました。今後グループで活かしていきます。

窪田 旭の ICT 環境はどうなっていますか？

田中 コロナ禍からタブレットを積極的にはじめました。時期としては早くなかったですが、現在は全教室にモニターがすべて取り入れられており、今の1、2年生は1人1台端末をもっているので、授業を ICT で受けることができます。

窪田 タブレットを使う前と使った後での違いはありますか？

田中 今まで使う機会がなく浸透していませんでした。言葉だけ、板書だけだと子どもの気持ちの汲み取りが難しかった。映像や意見を人前で言えなくても色々な意見を集約できるようになり、生徒

に寄り添うことができるようになりました。

教頭 端末モニターについてはソフト面が課題です。旭高校の教員が、希望ヶ丘高校に出向いて、ICT 授業を見てそこで学んだことを生徒に還元しています。

教頭 次に生徒指導についてですが、資料が1と2に分かれているので、まずは1の方からよろしく願いいたします。

金澤 今年1年間担当し、生徒指導の件数は多いです。校内のゴミのポイ捨てや壁が壊される件もあり、指導が難しい印象です。支援という視点から教育相談を来年やっていく予定です。また県の予算がついたので週に1回スクールカウンセラーに生徒が相談できる体制が整ってきました。来年度に向けて生徒の実態の把握や職員の共通理解もしていきます。

教頭 ありがとうございました。ご意見よろしく願いします。

増田 生徒指導の具体的な状況はどうですか？

金澤 遅刻については学年による差があります。1年生は遅刻がほとんどありませんが、学年が上がると増えていくようです。頭髪指導は1年生だと数名程度で、卒業式で染色した人はいませんでした。3年生は頭髪指導が積み重なった結果、最後の卒業式はきちんとしていました。1、2年生は今後も生活指導の繰り返しで卒業式を迎えていくのかなと思います。今年度、カウンセラーが変わってしまい、来なくなった人もいます。教員が SSW やカウンセラーと一緒に生徒を支えています。

新井 子どもは思春期になってカウンセラーの方に行く人はいますか？

金澤 カウンセラーが変わったことで継続して登校していた子たちが来なくなったこともあります。その代わり教員が生徒の支援を協力して行ってきました。

窪田 服装についてはどのあたりまでが指導対象ですか？

金澤 服装規定がありますが、10月に少しでも服装についての規定を変えました。以前の服装規定は今の時代に合っていないので。地毛を保つのを主としています。

窪田 頭髪指導は小学校でも大変です。

金澤 服装は生徒会の生徒と意見交換しています。頭髪に関して、生徒が納得できる形を取っています。その子が納得できる理由づけをしていくことが大事かなと思います。

教頭 では2つ目、よろしく願いいたします。

國島 生徒支援では、生徒が行事の運営を通してコミュニケーションの向上をしていくことが目標です。ほとんどの生徒が文化祭のアンケートで達成感を得られたと書いています。コロナ化で「何がで

きるか」から、コロナの制限がなくなり「どうやるのか」を生徒の個性を発揮させながら、年度当初から指導してきました。今後は球技大会も、体育委員だけでなく、生徒からも服装や頭髪について自分たちから結論を導き出させ、グループでもそれを支援していきます。生徒には自分たちに何ができるかを考えさせて常に感謝の気持ちを植え付けたいと思います。

教頭 ありがとうございます。何か意見はありますか。

次に3番目、進路指導について佐々木から報告をお願いします。

佐々木 スタディサプリで自学自習する人もいますが、2、3学期になるにつれて使用頻度が低くなる傾向があります。生徒の学習意欲を高める仕掛けが必要ですね。学校での宿題以外に目的意識を持たせるための設定が必要だと思います。3年生は希望の進路に行けた人が大半ですが、一般受験の生徒は自分の能力と進学先が求める学力と見合わない生徒もいます。そこにいくために3年間、つまり1年生から手だてを考えていく必要がありますね。改めて生徒に考えさせていきます。

教頭 何かございましたら、お願いします。

佐々木 高卒就職は少ないので、何かしら専門学校や大学というネームバリューで選ぶ生徒がいます。大学へ入学しても具体的な目標がないので、経営として「こういうことをやりたい」という意識を備えていきます。

窪田 学習の上で全部が繋がっていくものだと思います。高校生の感覚だとそれらをつなげて考えるのは難しいですね。課題解決学習が社会に結びついていくような…なかなか難しいですけど。

教頭 次は学校管理についてよろしく願いいたします。

五反田 感染症やリモート授業、ICT の環境整備や校内の Wi-Fi、モニターなどを整理してきました。現在は不具合等ありません。今後、防災意識を高める学習をしていくので地域連携も深めながら、来年度の目標も新たに決めていく予定です。

新井 学校の登下校の際に何かあれば、地域をまたいでいくことも必要かなと。地震が起きた場所でもどう対応していくのかを持つ視点も大事かなと思います。

五反田 自分の身は自分で守ることは保健の授業で指導しています。家庭の中も考えさせています。

新井 登下校の時に地域の中でどこに行けばいいかを理解した方がいいです。普通救命の講習を子どもたちに指導してはどうですか？

増田 学校の周りは崩れないですか？

五反田 学校の周りはコンクリートで補強されています。

教頭 ありがとうございます。次に地域貢献活動や学校運営協議会について広報グループよろしく

お願いします。

渡邊 旭アワードを通常通りに開催しました。今年度は卒業式で学校協議会の名前で1名発表しました。生徒の活躍の場を設定するのは大事なので今後も継続していきます。

教頭 地域連携について何かあればお願いいたします。

阿部 年間の簡単な予定表など示してもらいたいと思います。

國島 地域とのボランティアは貴重な体験ができました。旭区はボッチャが盛んな地区です。もし開催する日程が合えば、生徒を募っていく予定です。

教頭 地域貢献デーについてよろしくお願いいたします。

渡邊 今年度は地域の方々と関わることができてありがとうございます。2年生は明後日(3/14)に地域清掃をします。また、あさひだよりも発行しています。また、今年度はホームページの迅速な更新もしてきました。速やかに更新できたかと思います。部活動は生徒が主体的に更新していますが、更新頻度の少ない部活もあるので次年度の本校の部活の魅力を伝えていきます。生徒主体の学校説明会は通常通りにできて、のべ3500人の保護者に説明することができました。90%以上は説明会についてよい反応が得られました。これは生徒会の活躍のお陰でした。今年度は倍率としても過去最大になりました。

教頭 なにかご意見はありますか。以上で評価部会を終わります。

## 2. 学校運営協議会

副校長 続きまして学校運営協議会では、一年間を振り返って委員の方々のご意見を伺いたと思います。

新井 地域の方、先生方の意見をうかがえるのは素晴らしいことだと思いました。

窪田 他校種とはいえ連携できていければいいと思う。幼少中高連携ができれば良い。また機会があればと思います。

増田 初めての参加でした。引き継ぎがなく、学校の生徒のニーズをもっと具体的に聞けると思ったが、あまり把握できなかったです。

阿部 毎月行われる町内会の会長会議からの報告で、旭高校の学校だよりに生徒の意見や教師の意見をもう少し書いてあるといいなという意見がありました。地元にももっと具体的な内容や触れ合う機会が得られたり、地元と親しく付き合えたりするのではと思います。

また、避難訓練では上川井小学校、川井小学校などが防災拠点となっている。参加してもらえると、災害についての意識が芽生え将来的にも役立つと思います。

副校長 来年度の行事予定が決まったら連絡します。来年度も引き続きお願いします。